

総合的な学習の時間における **体育・健康に関する指導事例**

6年生「総合的な学習の時間」
「ニュースポーツでみんな元気」の活動例

6年生になると運動をする子としない子の二極化が顕著に現れてきます。体力の低下が社会問題になっている現在、生涯体育を見通した運動に対する理解が必要になってきます。「ニュースポーツ」をテーマに追究活動し、活動することによってこれまでに経験したことのない運動の楽しさにふれることができ、運動に対する考え方の幅が広がると考えられます。

ねらい

- 今まであまり経験したことのない運動を行うことにより、新たな運動の楽しさに気付く。
- 運動の楽しさや素晴らしさを実感し、日常的に運動に取り組もうとする。
- みんなが楽しめるように運動を工夫したり、スポーツ大会を行ったりすることができる。

課題をもつ段階

単元を通しての学習計画を知らせ、見通しを持たせる。

1 身の回りでスポーツをしている方を探そう！
「学級での話し合い活動→取材」

- 大人になっても運動をしている人がたくさんいることをおさえる。
- なぜ、運動をしているのかを考えさせる。



1 僕のお父さんはゴルフをしているよ。

1 うちのお兄さんはサッカー部に入っているよ。「汗をかくと気持ちいい」と言っていたなあ。

2 運動をしているからお元気なんだね。

2 運動を始めてから風邪をひかなくなったんだって。

2 スポーツを楽しんでいる人に取材してみよう！
～スポーツ愛好家の方をお迎えて～
「ゲストティーチャーへのインタビュー→取材したことの発表」

- 様々な年代の方をお迎えてできるとよい。
- ニュースポーツをしている方をお迎えて、この時点でニュースポーツを児童に理解させるのもよい。
- 運動と心や体のかかわりを考えさせる。



2 僕たちの知らないスポーツをしている人がいたよ。

課題を追究する段階 実際に試しながら、工夫して自分たちの「スポーツ大会」を企画する。

1 みんなが元気になるおすすめスポーツを調べよう！
「一人一人の追究活動→話し合い活動」

- 「調べる方法例」インターネット、インタビュー、書籍、電話など。
- 「課題をもつ」段階での取材活動を参考にさせる。
- スポーツを選ぶときの観点（どの子も楽しさが味わえる）を明確にし、運動を行えるように助言する。
- 教師から1つニュースポーツを紹介して、実際に取り組んでみるのもよい。（例）アルティメットなど。



1 本にカバディというのがあったよ。

1 ニュースポーツという言葉を見つけたよ。どんなスポーツなのかなあ。

2 ミニバレーボールっておもしろそう！

2 キンボールはみんなで楽しめそうだね。

3 カバディは危なくないように5秒間タッチしていたらアウトにしよう。

2 さらに深く調べ、取り組んでいきたいスポーツを決めよう
「クラスでの話し合い→体験」

- 実際に運動してみなければ、おもしろさなどがわからないので活動場所および安全の確保にも留意したい。

3 グループごとに自分たちが選んだスポーツで大会を企画しよう
「どの子も楽しめるようなやり方やルールを工夫する」

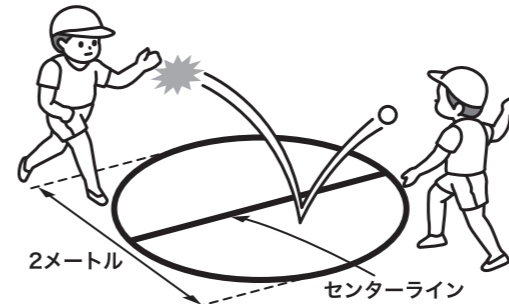
- ニュースポーツは様々な用具が必要なものが多いが、他のもので代用したり、子供たちに作らせたりしても十分楽しめる。
- 実際に運動を楽しみながら企画していくよう助言する。

広げる段階

おすすめスポーツ大会を行い、運動を楽しむ。

おすすめスポーツ大会を運営しよう
「担当グループが運営して学級全員で運動を楽しむ」

- 各グループごとに1時間のスポーツ大会を企画運営していくことで、一つ一つの運動を十分に楽しむ時間を確保する。
- 学年活動や縦割り班活動、保護者との交流などにも活用でき日常的に運動していくことに対して意欲をもたせる。



今日はハンドテニス大会をします。このスポーツは手でボールを打ち合うので手軽にどこでもできます。ルールも簡単です。

学年でミニバレーボール大会を開こう！

カバディは低学年の子とも一緒に楽しめるんじゃないかな？